

平成26年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社シーエスロジネット
 コード番号 2710 URL <http://www.indis.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 金岡正光

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 金岡昭光

TEL 052-354-7797

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	6,682	19.6	48		19		30	
25年3月期第2四半期	8,308	14.8	61		61		70	

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 25百万円 (%) 25年3月期第2四半期 109百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	6.48	
25年3月期第2四半期	14.96	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円銭
26年3月期第2四半期	7,265		3,670		50.5	774.66
25年3月期	8,193		3,695		45.1	779.98

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,670百万円 25年3月期 3,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期		0.00		0.00	0.00
26年3月期		0.00			
26年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	14,000	16.2	10		50		10		2.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	5,257,950 株	25年3月期	5,257,950 株
期末自己株式数	26年3月期2Q	520,346 株	25年3月期	520,346 株
期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	4,737,604 株	25年3月期2Q	4,737,604 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2．サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3．継続企業の前提に関する重要事象等	3
4．四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安や株高の影響を受け景気は緩やかに回復しつつあるものの、海外景気の下振れ懸念など景気の押し下げ要因も存在しており、雇用情勢の回復に伴う個人消費の改善も一部みられるものの、市場全体としては厳しい状況で推移しました。

当社グループの事業領域のうち、映像ソフト市場におきましては、映画興行収入全体では洋画とアニメを中心に比較的好調に推移したものの、興行収入が100億円を越すヒット作が無かったことや、ブルーレイディスクプレイヤーが普及するものの、パッケージ商品に占めるブルーレイディスクの比率が思った以上に高まらないことなどから、映像ソフト市場は厳しい状況で推移しました。

音楽ソフト市場におきましては、昨年度は生産数量及び金額において前年度を上回る堅調な一年となりましたが、本年においてはCDシングル及びCDアルバムにおいてヒット作が少なかったことから、厳しい状況で推移しました。

コンシューマーゲーム市場におきましては、iPhone、スマートフォン等の普及に伴う携帯端末向けの配信型のゲームソフトの台頭に加え、新型ゲーム機の発売を控え既存機種の上売が頭打ちとなり、ゲーム機本体とともにパッケージソフトの販売市場も厳しい状況で推移しました。

このような環境のもと、映像ソフト市場におけるシェアの拡大と売上総利益率の改善に加え、グループ全体の業務効率の向上による経費削減に努めてまいりましたが、映像ソフト、音楽ソフト及びコンシューマーゲームの売上高が前年同期と比較して大幅に減少しており、利益面ともに厳しい結果となりました。なお、グループ全体の業務効率の向上策として、本年4月1日付で連結子会社の株式会社ハブ・ア・グッドを吸収合併し、経営資源の集中、業務の見直しなどによる業務効率の向上を進めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高が6,682百万円と前年同期比で19.6%減少しました。業務効率の向上により経費の削減効果が出ているものの、売上高の減少による売上総利益の減少を補うにはいたらず、営業損失は48百万円（前年同期は61百万円の営業損失）、経常損失は19百万円（前年同期は61百万円の経常損失）となり、四半期純損失は30百万円（前年同期は70百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

卸売事業

a. 音楽映像ソフト

当部門の売上高は、映像ソフトにおいては、販売用DVDは比較的堅調に推移したものの、レンタル用DVDにおいては、レンタル店におけるレンタル料金の低価格化による店舗収益の圧迫などから、仕入予算の縮小等の影響を受け減少しました。また、音楽ソフトにおいてもヒット作が少なかったことから、前期比21.8%減の4,965百万円となりました。

b. コンシューマーゲーム

当部門の売上高は、ゲームソフトにおいてヒット作が少なかったことと、既存のゲーム機本体の上売が減少し、前期比21.1%減の628百万円となりました。

c. 関連商品

当部門の売上高は、CD-R、DVD-R等の既存商品の売上高が減少傾向にあるなか、バラエティグッズをはじめとした、店舗における新たな商材の販売を強化したものの、既存商品の減少分を補うにはいたらず、前期比5.8%減の268百万円となりました。

d. その他

当部門の売上高は、レンタル店を対象とした当社オリジナルサービス「CSR（Customer Stock or Return）」の導入を推し進めた結果、前期比37.2%増の434百万円となりました。

以上により、卸売事業全体の売上高は、前期比18.8%減の6,297百万円となりました。

小売事業

当部門の売上高は、当社直営店のうち不採算店を閉店したことと、既存店の売上高の減少の影響を受け、前期比30.7%減の385百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は7,265百万円となり、前連結会計年度末に比べ928百万円の減少となりました。

また、純資産の残高は3,670百万円となり、25百万円の減少となりました。

(資産)

流動資産においては、前連結会計年度末に比べ718百万円減少した3,979百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少とたな卸資産の減少によるものです。

固定資産においては、前連結会計年度末に比べ210百万円減少した3,286百万円となりました。主な要因は、のれんを償却した減少と敷金及び保証金の減少によるものです。

(負債)

流動負債においては、前連結会計年度末に比べ816百万円減少した2,695百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少によるものです。

固定負債においては、前連結会計年度末に比べ85百万円減少した900百万円となりました。主な要因は、長期借入金の返済によるものです。

(純資産)

純資産においては、前連結会計年度末に比べ25百万円減少した3,670百万円となりました。主な要因は、四半期純損失を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年11月7日に公表しました数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第2四半期連結累計期間において、(株)ハブ・ア・グッドは当社との合併により消滅会社となったため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	837,010	950,777
受取手形及び売掛金	1,764,817	1,542,035
有価証券	377	439
たな卸資産	1,908,896	1,335,053
その他	206,672	167,669
貸倒引当金	20,449	16,765
流動資産合計	4,697,325	3,979,210
固定資産		
有形固定資産	687,967	681,558
無形固定資産	185,816	144,981
投資その他の資産		
投資有価証券	970,853	955,997
敷金及び保証金	971,198	817,714
その他	681,249	688,273
貸倒引当金	431	1,982
投資その他の資産合計	2,622,869	2,460,003
固定資産合計	3,496,653	3,286,543
資産合計	8,193,979	7,265,754
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,792,061	2,160,393
短期借入金	200,000	100,000
未払法人税等	53,933	34,606
賞与引当金	59,476	56,530
その他	406,937	344,010
流動負債合計	3,512,409	2,695,540
固定負債		
社債	113,600	99,200
長期借入金	396,532	325,120
役員退職慰労引当金	308,452	315,018
その他	167,554	160,824
固定負債合計	986,139	900,163
負債合計	4,498,548	3,595,703
純資産の部		
株主資本		
資本金	598,510	598,510
資本剰余金	545,000	545,000
利益剰余金	2,884,184	2,853,505
自己株式	142,231	142,231
株主資本合計	3,885,464	3,854,785
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,610	57,092
土地再評価差額金	241,827	241,827
その他の包括利益累計額合計	190,217	184,735
少数株主持分	184	-
純資産合計	3,695,431	3,670,050
負債純資産合計	8,193,979	7,265,754

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
売上高	8,308,027	6,682,936
売上原価	7,355,779	5,880,121
売上総利益	952,248	802,815
販売費及び一般管理費	1,013,414	851,695
営業損失 ()	61,165	48,879
営業外収益		
受取利息	1,961	2,827
有価証券売却益	-	16,362
受取手数料	4,807	3,605
その他	4,888	11,716
営業外収益合計	11,657	34,512
営業外費用		
支払利息	5,457	4,043
支払保証料	1,260	1,121
為替差損	4,859	-
その他	163	55
営業外費用合計	11,739	5,220
経常損失 ()	61,248	19,587
特別利益		
保険解約返戻金	1,317	2,166
特別利益合計	1,317	2,166
特別損失		
固定資産除却損	36	20
投資有価証券評価損	411	-
特別損失合計	447	20
税金等調整前四半期純損失 ()	60,379	17,440
法人税、住民税及び事業税	33,982	31,598
法人税等調整額	22,025	18,176
法人税等合計	11,957	13,422
少数株主損益調整前四半期純損失 ()	72,336	30,862
少数株主損失 ()	1,483	184
四半期純損失 ()	70,853	30,678

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	72,336	30,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,715	5,482
その他の包括利益合計	36,715	5,482
四半期包括利益	109,052	25,380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	107,569	25,196
少数株主に係る四半期包括利益	1,483	184

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	60,379	17,440
減価償却費	21,769	16,586
のれん償却額	36,019	32,960
投資有価証券評価損益(は益)	411	-
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	9,095	6,565
賞与引当金の増減額(は減少)	1,016	2,946
有価証券売却損益(は益)	-	16,362
貸倒引当金の増減額(は減少)	59	2,133
受取利息及び受取配当金	4,047	4,869
支払利息	5,457	4,043
為替差損益(は益)	2,352	1,153
固定資産除却損	36	20
売上債権の増減額(は増加)	350,972	222,782
たな卸資産の増減額(は増加)	536,241	573,842
その他の資産の増減額(は増加)	657	1,493
破産更生債権等の増減額(は増加)	2,220	1,663
差入保証金の増減額(は増加)	-	152,977
仕入債務の増減額(は減少)	861,359	631,667
未払消費税等の増減額(は減少)	80,122	520
その他の負債の増減額(は減少)	37,646	35,086
預り保証金の増減額(は減少)	5,280	6,730
小計	69,928	290,698
利息及び配当金の受取額	3,742	4,235
利息の支払額	5,494	4,109
法人税等の支払額	127,829	59,023
法人税等の還付額	-	51,319
営業活動によるキャッシュ・フロー	59,652	283,120
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	4,800	24,800
定期預金の払戻による収入	30,036	5,878
有形固定資産の取得による支出	6,664	1,638
長期前払費用の取得による支出	113	113
無形固定資産の取得による支出	3,330	-
投資有価証券の取得による支出	12,885	5,282
投資有価証券の売却による収入	-	41,257
貸付けによる支出	40	2,085
貸付金の回収による収入	325	700
敷金の回収による収入	-	1,279
敷金の差入による支出	2	203
保険積立金の解約による収入	2,816	4,710
投資その他の資産の増減額(は増加)	11,861	11,436
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,519	8,267
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	92,832	92,954
社債の償還による支出	14,400	14,400
配当金の支払額	47,227	279
財務活動によるキャッシュ・フロー	54,459	207,633
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,352	1,153
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	122,984	84,907
現金及び現金同等物の期首残高	830,163	694,709
現金及び現金同等物の四半期末残高	707,179	779,617

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	合計(千円)
売上高			
外部顧客への売上高	7,752,068	555,959	8,308,027
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	7,752,068	555,959	8,308,027
セグメント利益又は損失()	191,688	66,425	125,262

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	125,262
セグメント間取引消去	-
のれんの償却額	3,058
全社費用(注)	183,370
四半期連結損益計算書の営業損失()	61,165

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	合計(千円)
売上高			
外部顧客への売上高	6,297,379	385,556	6,682,936
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,662	5,728	7,391
計	6,299,042	391,285	6,690,327
セグメント利益又は損失()	156,209	51,616	104,592

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	104,592
セグメント間取引消去	900
のれんの償却額	-
全社費用(注)	154,372
四半期連結損益計算書の営業損失()	48,879

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。